

自然豊かな小浜で

海洋資源の可能性と、

起業の風をつかめ！

日本海側唯一の水産・海洋系学部で、サバの完全養殖を目指す熱意あふれる産官学連携プロジェクトを体験。学生で起業した先輩たちの話を聞いたことで、起業という選択肢が身近に。

大学での学びだけでなく、地域に出て様々な経験ができる！

福井県立大学
海洋生物資源学部
海洋生物資源学科准教授
細井公富先生



自分たちもその一員として何ができるかを考えてほしい。

福井県立大学
海洋生物資源学部
先端増殖科学科3年生
緒方太陽さん

参加した高校生からの感想①
起業のハードルが思ったより低いと感じた！



参加した高校生からの感想②
養殖が抱える課題と可能性を学べた！

小浜の水産資源や起業の選択肢に対し、ポジティブに捉える様子が見られ、起業と海洋生物資源学部の可能性を感じる充実したワークショップでした！

高校生が楽しめる

まちなか滞在プログラムを

構築せよ！

福井まちなかエリアを学生や若い世代がもつと集う場にするにはどうするか？大学の学術的視点、まちづくりに携わる企業の若手社員の意見を交えたグループワークで、魅力的なまちなかにするためのアイデアを提案！

高校生ならではの視点で、福井の魅力を発掘し、発信して寺田憲弘先生



福井県立大学
国際地域学部准教授
田中志敬先生

受け身ではなく、自ら「不自然な状況」を作り出そう！

自分たちも地域の「一員」として何ができるかを考えてほしい。

福井工業大学
FUTまちづくりデザインセンター副センター長
工学部 建築土木工学科教授
吉村朋矩先生

参加した高校生からの感想①
観光やまちづくりに興味を持つきっかけになった



参加した高校生からの感想②
地域の新しい魅力を発見できた！

これまで知らなかった地元の魅力を再発見することができ、福井への愛着や関心が高まるワークショップでした！

Workshop 2

●2024年9月15日(日)／福井県立大学 小浜キャンパス、かつみキャンパスで開催

① 起業家トークセッション

10:20～



まずはじめに学生起業家の県立大学の緒方さん、福井大学の堅帯さん、そして㈱フィッシュパスの西村社長の3名をゲストに迎え、トークセッションを開催。学生時代に起業した経緯や、大学での学びや人脈をビジネスに活かしている秘訣などを、細井先生県立大学と竹本先生福井大学のコメントを交えながら熱く語り合いました。

② 座学

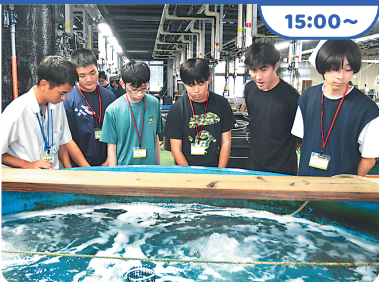
13:30～



福井県立大学海洋生物資源学部の細井先生が海洋生物資源学科と先端増殖科学科を紹介。サバの完全増殖研究について解説しました。細井先生は、小浜がサバ文化が根付く地域でありながら、近年漁獲量が激減している現状を説明。地域での学びとして、定置網体験や里山保全活動も紹介されました。

③ 飼料生成体験・水産試験場見学

15:00～



その後、飼料生成体験と飼育施設見学を実施。参加者は大学で実際に使用されている機械を使い、魚の餌づくりを体験しました。また、飼育施設には、学生が個々に管理する生簀もあり、参加者は興味津々に見学していました。

Workshop 3

●2024年9月22日(日)／福井駅前で開催

① 座学

13:30～



観光・まちづくりをテーマに3つの座学が行われました。吉村先生(福井工業大学は、次世代の交通まちづくりとして、人中心の交通と地域密着型の研究・実践の重要性を、寺田先生(仁愛大学は、地域文化を考慮した観光情報発信の必要性を、田中先生(福井大学は、若者の福井への愛着を育むまちづくりを提案しました。

② フィールドワーク

15:30～



座学後は、京福バス(株)、まちづくり福井(株)、㈱ハビラインふくいの若手社員の取り組み事例を参考に、駅前でフィールドワーク！都会的な再開発エリアであるフクマチブロック、古くからの商店街である新栄エリア、西武福井店などを周遊し、それぞれのエリアを巡りながら、若手社員たちとも交流を深めました。

③ グループワーク・プレゼンテーション

17:30～



フィールドワーク後、高校生たちはグループに分かれ、それぞれの視点から「こんなまちなかだったら魅力的だ！」というアイデアを出し合いました。高校生ならではのユニークな視点と、熱意のこもったプレゼンテーションが行われました。高校生たちは、今回のワークショップを通じて、まちづくりの難しさや面白さを実感しました。